

光と緑の風通信

発行/2008年6月25日 編集/福島県立医科大学看護学部 〒960-1295 福島市光が丘1番地 TEL024-547-1111(代)

congratulations!

2008年 入学式



2008年4月7日看護学部生入学式

看護学研究科入学式

緑の美しい季節を迎え、新入生も落ち着き始めた頃と思います。多くの若者にとって、大学を選び入学することは、自分の責任で進むべき道を決め、人生の第一歩を踏み出したということになります。私は、人生は、一日一日を過ごす自分の生活の積み重ねであり、自分が生きた軌跡をつくっていくことであると考えています。その人間の生きる軌跡が、今小さくなっているような気がしてな



新しい風に乗って



看護学部長

中山 洋子

らないのです。若者は携帯電話を持ち、どこにいても世界の情報を一瞬にして入手できるような状況に置かれているにもかかわらず、視野は広がらず、そのスケールが大きくならないのはなぜなのでしょう。先日、夜中に目が覚め、テレビをつけると、世界で活躍できる日本人をどのように育成するかについて論じていました。世界で活躍するために必要なこととして「豊かな創造力

と「高い専門性」をあげていました。これを聞いた私は、咄嗟に、大学で学ぶことは、これらを身につけることであろうと思いました。勿論、看護学部生には、学ぶことを通じて人としての豊かさや輝きを身につけていくことが求められますが、大学で学ぶことは、広い世界に旅立つことを意味しているのです。携帯電話を片手に持つててもいい。新入生には、新しい風に乗って、無限の可能性を自由に追求め、広い世界に羽ばたきするような大学生活の軌跡を残してほしい、そんなことを私は願っています。(なかやま ようこ)



入学への歓迎の言葉



理事長兼学長

菊地 臣一

看護学部新入生の諸君、入学おめでとうございます。私の大学入学は約40年前のことです。その時、希望と共に漠然とした不安を抱いて、心細い気持ちで入学式に臨んだことを微かに記憶しています。諸君は、これからの4年間、職業人としての徹底した教育を受けるわけですが、私は、先輩としていくつかの助言が出来ます。一つは、「愚

直なる継続」の勧めです。私のような凡人には、「集中力や情勢の持続」は不可能です。しかし、同じ事を継続することは出来ます。例えば、「絶対に遅刻をしない」とか、「毎日日本を開く(読む)ではない」などです。これを3年間続けてみて下さい。誰も手が届かない高みに達することが出来ます。「努力出来ることも才能の一つである」は、私の恩師

「Macnab教授の私への励まし」の言葉です。もう一つは、「挫折の数だけ優しくなれる」ことを信じて、自分の選んだ道を歩み続けることです。人生は、断念や挫折の積み重ねの結果です。哀しみや切なさを知っている人間は、他人に優しくなれます。「勁くなければ生きていけない。優しくなければ生きていく資格がない」は本当です。諸君が、毎年成長していくのを楽しみにしています。その為にも、私の二つの助言を胸に留めておいて下さい。(きくち しんいち)



先輩からのメッセージ

林 理紗

憧れの大学に入学でき、これからの大学生活をとても楽しみにしています。勉強と部活・バイトを両立しながら、充実した生活を送りたいです。

坂内 博世

これから先いかに頑張るかあると思うが、自分が目指す看護師になるために頑張りたい。その他にも、サークル活動や新しいことでも取り組んでいきたい。

舟山 真由

早く大学での生活に慣れて、勉強や部活動などに積極的に取り組みたいです。常に目標を高く持ち、一日一日を有意義に過ごしていきたいと思っています。

松村 葵

勉強と部活を頑張って楽しい大学生活を送りたいです。

真船 綾子

看護学の勉強と部活を頑張っていきたいです。そして多くの人と触れ合い、充実した大学生活を送りたいです。

村松 亜矢子

初めまして。私は地元の郡山市から通学しています。まだ入学してから一週間と少ししか経っていないので、大学生活にも通学にも慣れていませんが、頑張りたいと思います。

森田 真矢

良い医療人となるよう勉強に励み、専門的知識を身につけたい。また、先輩や友人や友人との交流を深め、人間性を豊かにするために頑張りたいです。

安田 彩

勉強と部活に一杯取り組み、充実した大学生活を送りたいです。出会いを大切に、素敵な看護師になれるように頑張りたいです。

山内 理衣

勉強も部活もきちんとこなして、楽しいキャンパスライフを送りたいと思います。私は助産師になりたいと思っていますので、夢を実現できるように頑張ります。

山口 陽子

大学での4年間は、看護に必要な技術、知識を身に付けると同時に部活などにも積極的に参加したいです。充実した大学生活になるよう頑張りたいと思います。

錦水 麗愛

部活と勉強を両立して楽しい大学生活を送り、患者さんに頼られる看護師になれるように頑張りたいと思います。私が看護師になつたら病院に遊びに来てください。

湯田 和

福岡県医療専門学校で看護を勉強しています。自分の夢を実現できるように頑張りたいです。

横田 沙也加

私は、この大学で自分の目標を達成出来るように日々努力し、看護に対する理解を更に深めていきたいと思っています。

吉田 かりん

慣れないことも多く、大学生活は大変なと思いますが、みんな切磋琢磨し、看護士としての人間として成長できる努力していきます。

渡邊 希望子

念願の看護学部へ入学でき、真の胸がいっぱいです。皆で部活動で頑張りたいです。充実した大学生活を送りたいです。

渡部 美桜

看護学部へ入学して思っていたよりも面白いです。本気で頑張りたい。卒業するまでみんなと仲よく大学生活をしたいと思います。

渡部 由蘭

勉強、部活動と自分なりに両立し、大学生活を有意義なものにしたいです。

編入生 8名

新入生のひとこと

大河内 静香

私は専門学校で学んでいた看護を振り返り、大学で更に深く看護について学びたいです。また、部活動にも参加し、沢山の友達と交流できたいと思っています。

加羽澤 理佳

専門知識と技術を体系的に学び、実習などを通してそれらを確かなものになりたい。その上で保健師の職務につき、地域の人が健康的な生活を送れるよう、実践力を磨いていきたい。

大学院生 8名

新入生のひとこと

伊藤 佳美

本学で一度めの学びの機会を得ることができました。大学院での学びを通して、看護とは何かをより深く考えていきたいと思っています。どうもお楽しみに致します。

遠藤 利美

大好きな妻と娘を育てる週末は、学びが持ちは高まります。今回、この機会を与えてくれた大学院関係者・職場の皆様、家族に感謝し、充実した3年間を目指します。

渡谷 里美

私は臨床を5年経験し編入しました。医大という環境で看護をじっくり学べることに喜びを感じています。一日一日を大切に看護を深められるよう頑張りたいと思います。

駒場 千裕

一年間の臨床経験を経て3年次編入しました。大学という新しい環境の中で、様々な経験をし、積極的に勉強に取り組み、自分を成長させることが出来たらと思います。

佐久間 朱紗

大学では、沢山の事に挑戦して自分を成長させていきたいです。二年間の中で、一杯頑張ります。

佐藤 郁美

郡山の坪井病院のホスピスに勤めています。仕事をしながらの大学院生活という中で不安も大きいですが、どんなことを学べるか期待も大きいです。がんばります。

佐藤 忠

臨床経験二十五年、この節目に長期履修制度を活用し、自己成長を図るために一大決心しました。若い皆さんに刺激を受けながら衰えた記憶力に吸収していきたいと思っています。

中野 理恵

大学院で学ぶチャンスが得られて本当に嬉しいです。仕事との両立は大変な面もありますが、よく食べよく寝る(難しい!)乗りこえたいと思います。ようしくお話しします。

正木 亜季子

大学に編入出来たのがチャンスを無駄にしないよう、毎日大切に、看護の勉強に励んでいきたいと思っています。

馬目 紗織

初めての一人暮らしや大学生活についていけるか少し不安ですが、与えられた二年間を通して沢山の友達をつくり、充実して過ごせるように頑張りたいと思います。

山崎 由加里

看護学校で看護について勉強して行く中で看護が大好きになり、もっと勉強したいと思い入学しました。自分のモチベーションを高め積極的に勉強していきたいと思っています。

林 紋美

母校で再び看護について考えるこの時間を楽しみながら、自分なりに過していきたくと思っています。

物江 絵理子

「もっと知りたい、学びたい」という思いでまた母校に戻ってきました。働きながらの大学生活。大変ですが、成長していく自分を想像すると、今からとても楽しみです。

米倉 一磨

学校で学ぶことから離れて十年の月日がたった。当時、学ぶことに鈍感だった私が今何とも不思議な気持ち。この気持ちを大事にし勉強に励んでいきたい。

入学おめでとう

2年 長谷川 緑咲



待ちに待ったキャンパスライフがスタートし、一年生の皆さんは確実に医療従事者への道を歩み進んでね!! 皆さんはそれぞれ看護師、保健師

新入生の皆さんへ

3年 佐々木 萌



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。大学生活にもそろそろ慣れてきたころでしょうか。看護師、保健師、助産師、看護教諭など様々な目標を持った人がこの

を、講義やさまざまな活動を通じて学び、自分の価値観を見つめながら決めていく機会と場がこの大学には用意されていると思います。勉強だけでなく、サークル活動やアルバイト、旅行など、大学生活には今しかできない楽しいことがたくさんあります。学生生活を思いっきり楽しんで、充実した4年間を過ごしてください。そして目標の実現のために頑張ってください。

さまざまな選択肢が存在するの

だと思っています。その中から、自分が本当にやりたいことは何なのか、職業として何を遊ぶのか、

1つ1つの出会いを大切に

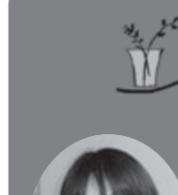
4年 久保木 杏奈



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます!! 皆さんが入学して早1か月。新しい友人や学校生活には慣れたでしょうか!? 今皆さんは、新しい生活を送る中で、夢と希望に満ちあふれていることでしょう。大学生活は、皆さん自身が自由になつていくものです。部

新入生のみなさんへ

編入 4年 金田 友美



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。看護に関する授業も始まり、少しずつ看護師となる実感が沸いてきたのではないのでしょうか。私は、昨年編入生として、3年次に入学してきました。大学に入って

感じたことは、大学は自主性が求められるところだということです。大学には、たくさん専門分野の先生方がいらつしやいますし、勉強できる環境が整っています。また、部活動もさかんで、様々な人と交流できる場があります。勉強だけにとどまらず、自分の興味があったことを始めてみたり、また部活動などを通して大学生活でしかできない経験をたくさんして、視野を広げていってほしいと思います。自主的に行動することを得るものも多く、より大学生活が充実したものになっていくと思います。これから始まる大学生活楽しんでいきましょう!

かねだ ともみ

血沸き肉躍る

大学院 2年 東 泰弘



新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。新たに増える仲間と対話しながら共に学び歩めることをうれしく思います。

大学院では、看護の本質の探究や看護の実践が評価されるような手段などを学べる場であると思います。働きながらの方も学生に専念できる方も多くいることを学べる場です。臨床家たちは、我慢したり苦しんだりしています。この状況に対しては、やはり専門職として私たち自身もつと力をつけなくてはならないと思います。臨床家の言語力や表現方法が乏しいことも一つとしてあるような気がしています。やっていることがきちんと評価されていないのは、評価されるようになってきていないのです。臨床家の努力の足跡を確実に残していくために大学院の知が活かされると信じています。

この時代だからこそ、看護の本質がさらに社会貢献できると信じています。それでは、自分のために、そして、仲間のために、血と汗の精華を。キラリ☆(学部生へ…学部)の皆さんも大学院生と共に学びましょう。6階で待っています☆

あずま やすひろ

新任教員のあいさつ

生態看護学部門

はじめまして



鈴木 学爾

本年度から生態看護学部門に就任いたしました。2年前に仙台から郡山に移り住み、福島県の穏や

戻ってきました！



鈴木 幸恵

本年度から生態看護学部門の助手となりました。主に小児看護学でお世話になります。小児看護学の

よろしくお願い致します



紺野 蘭子

私は、本学の2期生です。4月より生態看護学部門に着任致しま

かな自然の良さを知り始めています。4月からは福島県立医科大学の環境の良さ、研究室から見える景色の素晴らしいに癒されています。今後、さらに福島県の良さを知り得ればと思っております。

この素晴らしい環境の中で皆さんと共に成長し、お役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。(すずき がくじ)

担当は鈴木が3人になりましたから、皆さん混乱しないで下さいね。私は5年茨城、1年福島ですと小児を対象とした看護に携わっていました。子どもってすごい、人間ってすごい、という感動を皆さんにも感じていただけたらと思います。教員1年目で行き届かないことも多いと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。(すずき さちこ)

した。卒業後は平塚共済病院と順天堂大学医学部付属順天堂医院で勤務していました。このような立場で5年ぶりに本学部に帰ることができたことを嬉しく思います。この自然豊かな広大な環境の中で、新たな気持ちで皆さんと一緒にのびのびと楽しく学習していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。(こんの らんこ)

ケアシステム開発部門

再びの福島で



大竹 眞裕美

大学に向かう車から残雪をまとった山々を眺め、光が丘に戻ったのだなあ、と実感しています。これまでの3年間、東京都内の病院で看護教育に携わり、臨床の厳しい現状に触れ、看護管理者と話す中で、基礎教育のあり方、大学に席をおく者の役割、大学と臨床の連携はどうあるべきかと度々考えました。臨床でチャージしたことを大学での仕事に活かすこと、アクティブであることを目指しています。皆様よろしくお願い致します。(おおたけ まゆみ)

4月から着任しました



高瀬 佳苗

毎年夏に家族旅行で訪れていた「ふくしま」に、ご縁があつてまいりました。生まれも育ちも関東なので、「ふくしま」の文化や風土に親しむことができるか、少し、心配しています。立ち止まって躊躇している私を見かけたら、優しい手を差し伸べてください。どうぞよろしくお願い致します。(たかせ かなえ)

はじめまして



濱尾 早苗

今年度からケアシステム開発部門に着任しました。3月までは本大学院で学生としてマイペースな生活をおくっていたので、社会人として社会復帰できるか不安です。その反面、数十年住んでいた郡山から福島に引越して、仕事も生活も新たな出発であり期待に心躍らせています。10数年の精神科病院での臨床経験と大学院での学びを活かし頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。(はまお さなえ)



熊坂 智美

1月よりケアシステム開発部門の助手として勤務させていただいております。本学部の四期生であり、当時は学生時代を過ごした場所と働くとは想像もつきませんでした。昨年の4月から勤務していましたが、なかには「あらっ？」と思われる方もいるかもしれませんが、改めてどうぞよろしくお願い致します。今後より一層、みなさんからの新鮮な刺激をうけ、成長していけるよう、努力していきたいと思っております。(くまさか ともみ)

よろしくお願い致します

応用看護学部門

皆さん、はじめまして



三浦 浅子

今年度から応用看護学部門に着任いたしました。3月までは八戸赤十字病院で看護師長をしていたので、先生と呼ばれるときよろきよろきしてしまう自分がいて耳慣れませんでした。これから、がん看護専門看護師の役割を担っていきたいと思っております。今年度の目標は、認定審査を受けて資格を取ることと脱メタボリックです。こんな私ですが、皆様とともに成長していきたいと思っております。よろしくお願い致します。(みづら あさこ)

家族看護学部門

助産技師
向田 めぐみ 先生が
着任されました。

退任教員のあいさつ

ケアシステム開発部門

田井 雅子

4年7ヶ月の間、講義や実習を通して、元気な学生の皆さんと関わることで、皆さんから教えられることがたくさんあり、充実した時間を過ごすことができました。また、実習や研究などで多くの臨床の方々と出会えたことも、貴重な体験であり、思い出深いものとなっております。皆様ありがとうございました。福島で得たことを大切に、これからも生かしていきたいと思っております。それでは、またどこかで皆様にお会いできる日を楽しみにしております。(たい まさこ)

遠藤 太

大学での3年間が私の財産になっています。大学での3年間は、私にとってとても素敵な経験になりました。多くのすばらしい先生方と出会い、一緒に研究や仕事をさせていだいたこと、たくさんの学生諸君と勉強会について真剣にディスカッションできたこと、それらの全てが私の財産になっています。人ひとりに直接お礼すべきところだったので、それがかなわずこの紙面を借りてのご挨拶になってしまったこと大変残念に思っています。私を育ててくれた皆さん、本学にありがとうございました。皆様から頂いた、厚情は、患者さんのために還元していきたいと考えております。今後は一看護師として、福島県の片隅で努力していく所存ですので、今後ともどうかよろしくお願い致します。(えんどう ぶたこ)

生態看護学部門

阿部 頼子

7ヶ月という短い期間ではありましたが、学生の皆さんと課題別・領域別の2つの実習に行かせていただき、一緒に悩み、考え、発見するという体験をする事が出来ました。また、たくさんの先生方のお話や思いをうかがい、大きな学びとなりました。これらの体験は、私にとって貴重な宝物であり、パワーになったと思っております。ここでの出会いを大切に、今後新たな目標をもって頑張っていこうと思っております。また、どこかでお会いできることを信じております。本当にありがとうございました。(あべ よりこ)

家族看護学部門

鈴木 陽子

自身の経験が活きる仕事です。2月末日付で退職となりました。短い間でしたが、皆様と共有した時間はとても有意義で、また、自分の学生時代や臨床の姿勢を振り返って、学んだことの多い1年でした。当たり前のことですが、看護の仕事は自身の経験と仕事とが無関係ではない職業の一つだと思います。私もその中で新しいものをつかんで次に進めたらと思っております。ありがとうございました。(すずき ようこ)

平成19年度 看護学部卒業生の進路状況

卒業生の進路状況

卒業生 89人			
就職	84人	進学	5人
県内	43	その他	0
県外	41		

国家試験の合格状況

	保健師	助産師	看護師
受験者	89	4	80
合格者	87	4	79
合格率	97.8	100.0	98.8
全国合格率	91.1	98.1	90.3

看護学部カレンダー

6月18日 (水)	開学記念日
7月 5日 (土)	オープンキャンパス
7月 7日 (月)	基礎実習
7月18日 (金)	
7月 7日 (月)	助産学実習
8月29日 (金)	
7月14日 (月)	夏季休業 (1年次・3年次・編3年次・ 4年次・編4年次)
8月29日 (金)	
7月22日 (火)	夏季休業(2年次)
8月29日 (金)	
8月28日 (木)	集中講義
8月29日 (金)	
9月19日 (金)	解剖学見学実習(1年次)
9月19日 (金)	編入学試験
9月20日 (土)	
9月22日 (月)	前期試験
10月3日 (金)	
9月16日 (火)	前期試験(3年次)
10月3日 (金)	

情報から健康を考える



総合科学部門
林 正幸

「血圧も血清総コレステロールも高いですね。メタボに気をつけて！」病院等で良く交わされる会話であるが、これは、「個人」の検査結果数値情報から判断(診断)を行っているのである。

一方、私が過去から現在まで継続的に実施してきた研究は、市町村など地域の枠組みで健康情報(出生、死亡、健診結果、保険給付など)を収集分析し、地域における健康上の問題把握やその解決策を見出すことにある。これらの結果は時に国の医療政策や保険財政

福島リハビリテーション看護研究会



生態看護学部門
高橋 景子

福島リハビリテーション看護研究会は看護学部開学時から活動を続けています。会員数は40名くらいです。年会費を2000円徴収して、年に2回の講演会や研

に關わる政策企画のため厚生労働省の基盤情報として活用される。学部講義で行う統計学やコンピュータは、私にとってその実施ための道具なのである。人々の健康を目的に、人を情報化して集積、解析し、一定の結果を得る。それが私の研究である。(はやし まさゆき)

研究会、小グループに分かれての研究活動などを行っております。昨年度は「脳血管障害うつ状態に関する研究」を活動として行い、その結果を学会発表や本会のシンポジウムで発表しました。

嚥下障害に関する小グループでは「嚥下障害の看護の実態を明らかにする」ためにアンケート調査を実施して、その結果を今年度の活動に生かす予定になっています。

このように、福島リハビリテーション看護研究会は地道に継続して活動を続けてきました。

福島県においてはリハビリテーション看護に対する認知度が決して高いとはいえない状況にあります。今後は広報活動も含めて、中身の濃い研究会にしていきたいと思っております。(たかはしけいこ)



編集後記

梅・桃・桜と、春の花の見ごろを駆け抜け、新緑の季節となりました。季節が変わるたび、福島の四季折々の自然の美しさの変化にはたとえられません。今号の編集にあたり、新入生の希望・意欲・決意などを感じる事ができ、私自身も新鮮な気持ちとパワーを分けていただきました。

編集委員

委員長	林 正幸	飯塚 麻紀
	本多 たかし	野田 智子
	横田 素美	濱尾 早苗
	田中 克枝	根本 奈々
		庄司 真奈美

次にやってくるのは盆地ならではのうだるような暑さ。皆さんの看護への興味もさらに熱く、深くなっていますように。(いいつかまき)

平成20年3月に東北がんブローフェッショナル養成プランの一環として、がん領域で米国ベスト・ホスピタルとして君臨するMD Anderson Cancer Center にて研修の機会をいただきました。そこで、患者さんを中心に有能で多様な職種が集まり行われる集学的治療(チーム医療)を体感することができました。

海外研修報告

MD Anderson Cancer Center での5日間の研修を終えて



応用看護学部門
古橋 知子

にし、日本の現状がとても不自然なことに感じられました。また、患者さんおよび家族、医療スタッフ各々の力を集約し高めるようなシステムを病院全体で作りに上げることが、チーム医療の実現に繋がることが学びました。

今後、多角的視点と具現化する力を磨き、患者さん中心の病院作りに参画できるように努力を重ねていきたいと思っております。(ふるはし ともこ)